



# パブリック・クラウド・ストレージに保存して共有するデータの保護

## Dell Data Protection | Cloud Edition

現代のビジネスでは、従業員、ベンダー、およびパートナーが Dropbox、Box、OneDrive などのクラウド・ストレージ・サービスを日常的に使用して、ファイルの移動、共有、保存などを行っています。こうしたサービスは非常に使いやすく便利であり、共同作業を通じて生産性を向上させることが可能で、自分の好みのデバイスを使用して好きな方法で業務を行うことができます。

ただし、パブリック・クラウド・ストレージ・サービスは、その便利さと同じくらい大きなデータセキュリティのギャップをもたらしています。ユーザーがファイルをパブリッククラウドに保存したとたんに、IT部門はデータのセキュリティをコントロールできなくなり、取り戻すことはできません。その時点から、ユーザーはいつでも自分の好きなときに、自分が望む人々とデータを共有することもできるようになります。ユーザーは会社を退職した後でも情報を共有でき、以前のパートナーとの共有を中止するのを忘れて、ユーザーのアカウントがハッキングされたりすることもあります。こうした状況では、データのセキュリティを確保することなど到底不可能です。

Dell Data Protection | Cloud Edition は、IT部門のデータセキュリティにおける制御能力を強化します。データがパブリッククラウドの内外を移動する際に、透過的な暗号化プロセスと復号化プロセスによってデータを保護するため、業務を中断させることなく、手元に置かれたストレージのようにクラウドストレージを利用することが可能になります。また、Dell Data Protection | Mobile Edition と併用すればさらにセキュリティが強化され、スマートフォンやタブレットからアクセスした場合にもデータが保護されます。

これらのソリューションは Dell Data Protection | Enterprise Edition と完全に統合されています。Dell Data Protection | Enterprise Edition は、個人所有のコンピュータ、企業が所有するコンピュータ、リムーバブルメディア・デバイス、スマートフォン、タブレット、さらにはパブリッククラウドとプライベートクラウドなど、すべてのエンドポイントのデータを保護する包括的なセキュリティプラットフォームです。

## 包括的な保護、シンプルな管理

Dell Data Protection | Cloud Edition を使用すると、IT部門は、(共有ファイルを含む) データを表示できるユーザー、データにアクセスできるエンドポイントユーザー、およびユーザーのデータ表示方法をきめ細かくコントロールできます。また、必要に応じて、アクセスの即時無効化、リモートでのポリシーの適用、保存されている内容のリモートからの削除、そして監視や監査を行うことができます。

Dell Data Protection | Cloud Edition を使用することで、IT管理者は以下のことが可能になります。

- **ファイル共有のコントロール** - ユーザーがファイルを共有することができるEメールアドレスの宛先一覧を作成できます。
- **使用状況の監視** - クラウド・ストレージ・サービス用のIPアドレスをすべて監視し、アプリケーションプロセスと照合します。監視はブラウザとは独立して機能し、使用しているクラウド・ストレージ・アプリケーションにかかわらず、すべてのトラフィックをキャプチャします。
- **保護** - クライアント側の透過的な暗号化によってデータをコントロールします。クラウドへの送信トラフィックをキャプチャして暗号化し、クラウドからの発信トラフィックをキャプチャして復号化します。
- **一元管理** - 暗号化、暗号化キー、アクセスリカバリ、コンテンツのリモート削除、ポリシー、およびフォレンジックを一元的に管理します。
- **イベントの監査とレポート作成** - ファイルのアクティビティ、同期されたファイル、および誰がいつどこからファイルにアクセスしたかを監査してレポートを作成し、コンプライアンスレポートにまとめます。
- **モバイルデバイスのサポート** - クラウド内の暗号化されたデータに、iOSおよびAndroidプラットフォームからアクセスします。
- **ポリシーの適用** - Dell Data Protection | Cloud Edition クライアントを使用して、クラウドサービスへのアクセス、パブリックフォルダ、アプリケーション、暗号化キーの有効期限、およびポーリング間隔のポリシーを適用します。



## エンドユーザーの生産性の向上

Dell Data Protection | Cloud Editionは、ファイルがクラウド内に移動するときに透過的に暗号化し、クラウド外に移動するときには透過的に復号化します。ファイルの共有、アクセス、および保存のプロセスもエンドユーザーに対して透過的に行われるため、従業員はクラウドストレージが常に自分の手元にあるかのように使用できます。

Dell Data Protection | Mobile Editionと併用すれば、個人および企業が所有するAndroidまたはiOSのスマートフォンやタブレットからアクセスする場合にも、データを保護できます。また、エンドユーザーは都合のよい時間、場所、および方法で仕事ができ、IT部門はデータとコンプライアンスに対するコントロールを維持することが可能です。

## 効率的なコンプライアンス

現在、クラウドストレージサービスに保存されているデータは、アカウントのハッキング、解約後のユーザー制御、およびSSLの弱点に対しては脆弱です。保存データの実際の暗号化は、そのプロバイダが行っているためです。Dell Data Protection | Cloud Editionでは、もう1つの暗号化キーが提供されます。それを企業のネットワーク上に保存して企業が所有できるため、データはストレージプロバイダ自体からも保護されます。これにより、企業のデータとクラウドサービスプロバイダとの間に保護レイヤが追加され、HIPAA、HITECH、PCIなど、データのプライバシー保護を定めた規制へのコンプライアンスを維持できます。また、コンプライアンス状態の見直しと分析を行い、ポリシーの適用を検証して、必要に応じて調整することも可能です。

Dell Data Protection | Cloud Editionは1台のコンソールで一元的に管理できるため、セキュリティチームはデータへのアクセス、使用状況、およびポリシーの適用状況をより詳しく把握することが可能になり、コンプライアンス関連の作業負荷が大幅に軽減されます。

## Dell Data Protection | Enterprise Edition

Dell Data Protection | Cloud Editionは、統合プラットフォームのDell Data Protection | Enterprise Editionの一部であり、以下のようなすべての物理エンドポイントと仮想エンドポイントのデータを保護します。

- デスクトップ、ノートパソコン
- スマートフォン、タブレット
- リムーバブルメディア
- パブリッククラウド、プライベートクラウド
- 自己暗号化ドライブ
- BitLocker

インストールが簡単で管理しやすいDell Data Protection | Enterprise Editionにより、データの移動先を問わずにデータを保護できます。

### 仕様詳細

#### サポート対象のデバイス:

- デスクトップ
- ノートパソコン
- タブレット (iOS/Android)
- スマートフォン (iOS/Android)

#### サポート対象のクラウドサービス:

- Box
- Dropbox
- Microsoft OneDrive

#### サポート対象のクライアントプラットフォーム:

- Windows 7、8、8.1\*、10
- iOS 5.x、6.x、7.x
- Android 2.2~3.2、4.0~4.4

\* Windows 8.1のサポートにはMicrosoft OneDriveは含まれません

詳細情報: [www.Dell.com/DataProtection](http://www.Dell.com/DataProtection)